

# 東京未来大学での学び方

Study at Tokyo Future University

# 東京未来大学の教育を理解しよう。

スマートフォンのMAPで、自分の家を検索するとすぐに表示されます。その画面を人差し指と親指で狭めてみると、周辺の街、都道府県、関東地方、日本、世界と広がっていきます。

そこから逆に指間を広げていくとMAPは細くなっていき、自分の家の周辺のお店・施設が表示されてきます。

ごくごく簡単な操作ですが、自分の家が世界、日本、都道府県のどの辺りに位置しているのか、山が近いとか海が近いとか、さらには家からどのくらいのところにどんなお店や施設があるのかといった情報を得ることができます。

それによって、近所の状況だけではなく、天気予報を見るときやさまざまなニュースを見るときに、どこで何が起きているのかを自分の家を基点に想像することができるのです。例えば、●●市で災害が発生したときに自分の家の周辺に影響があるのではなどといったことがわかるのです。

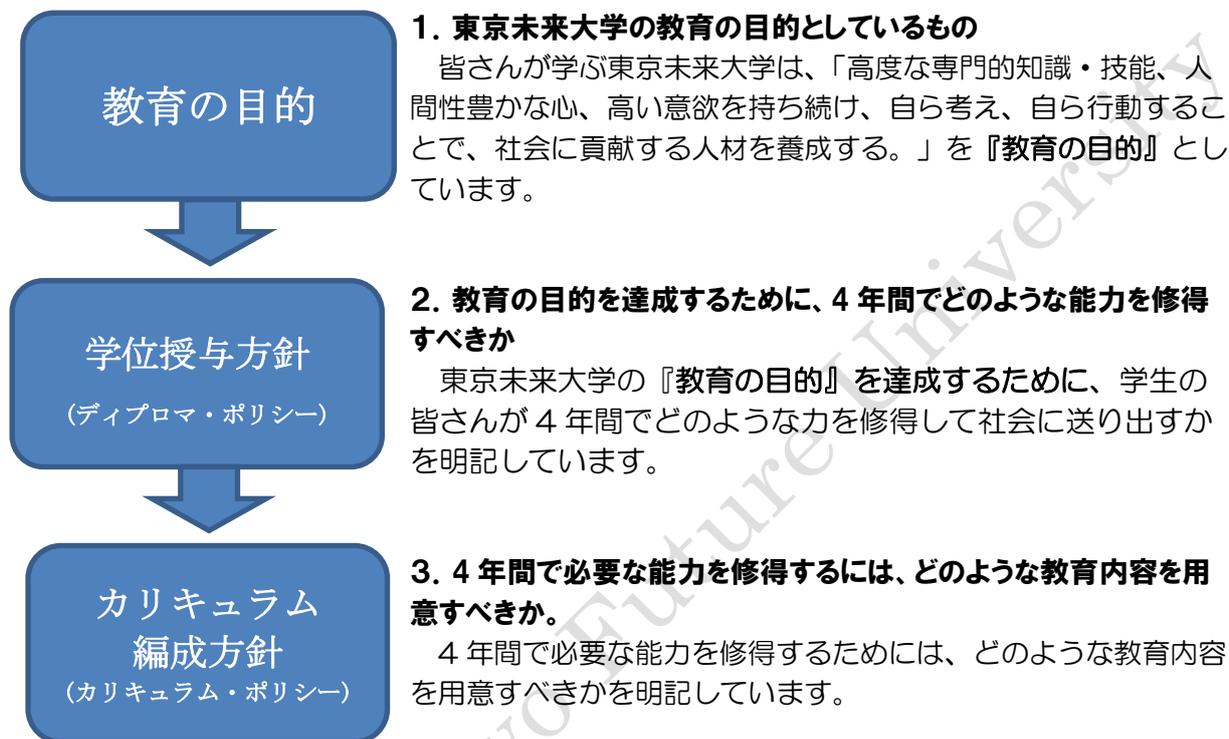
実は、こうした操作が大学で勉強していくうえでも大事なのです。卒業して学士の学位を取得するためには必修科目をとって、定められた単位数を修得することが必要となります。すこしズームを広げてみて、その周りにはどんな科目があるのか、それらの科目を設置している学科、専攻、そして学部は何を学ぶところなのか、さらには東京未来大学を卒業することで何が得られるのかなどを辿ってみましょう。その上で、逆にズームを狭めて最初の自分の位置に戻ることで、これから自分がどの様に進んでいくべきものなのか、今どういった位置にいるのかを知ることができるのです。

もちろん、そうした認識をもとに学修者として自分の学びを整理していくのは自分自身であるのは言うまでもありません。

この冊子は、東京未来大学の教育内容の構造を明確に示したうえで、皆さんがどのように学修していくべきなのかをアシストする目的で作成しています。

# 1. 東京未来大学の教育

東京未来大学では、4年間の学修をもって、こういった人材を育て、社会に送り出してくかという目的を持っています。それが「教育の目的」です。大学として目的を達成するために身につけるべき能力やそのために用意すべき教育内容をどう構成するかの基本の方針を示しています。



## 東京未来大学の教育の目的

高度な専門的知識・技能、人間性豊かな心、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材を養成する。

## 東京未来大学の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

高度な専門的知識・技能、人間性豊かな心、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材に学位を授与する。

## 東京未来大学の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)

高度な専門的知識や技能を身につけるための専門教育、幅広い教養を修得するための一般教育だけでなく、キャリア教育と行事などを融合した本学独自の人間教育を基軸としたカリキュラムを編成する。

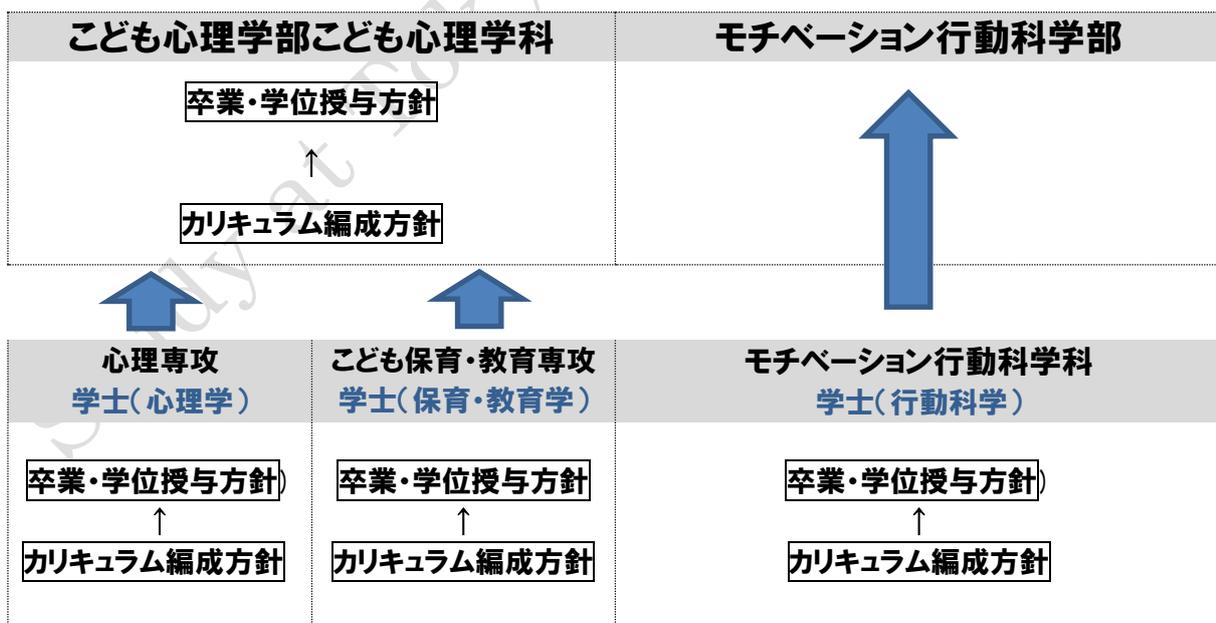
## 東京未来大学 独自の教育体系

本学では、「教育の目的」を達成するために、教育課程に加えて「プロジェクト・サイクル」も人材養成の一翼を担っています。(TFU 人材養成プログラム)



## 2. 各学部・学科の教育

東京未来大学には、こども心理学部とモチベーション行動科学部の2学部があります。先に述べた大学の「教育の目的」を各学部・学科のそれぞれ学位の種類に応じて実現していくために「学位授与方針」(ディプロマ・ポリシー)と「カリキュラム編成方針」(カリキュラム・ポリシー)を定めています。



### 3. 学士力(学位授与のために身につけるべき力)

学位授与を授与するために必要な要件（ディプロマ・ポリシー）として定められた能力とは、具体的などのようなものか、あるいはどのような力を修得しなければならないかを本学独自に示したものが「身につけるべき学士力」です。

#### <各科目区分で身につけるべき学士力>

カリキュラム上の「一般教育科目」「専門教育科目」「キャリア科目」において、どのような学士力を修得しなければならないかを「学士力一覧表」に提示しています。

#### <授業で身につけるべき学士力>

また、授業でどの学士力を修得すべきかをシラバスに明記しています。単位を修得するには、単に知識を身につけるだけではなく、シラバスに示された学士力を身につけたと判断されなければなりません。（項目「シラバスの見方」参照）



**「身につけるべき学士力」一覧表**

分類	種別	区分	項目1	番号	項目2
一般教育科目において身につけるべき「学士力」	汎用的スキル	A	自分たちの文化・異文化を理解し認める力（受容性）	1	文化・社会と自然に関する知識を理解できる。
				2	意見や立場の違いを理解し、受け入れることができる。
		B	常に学び、向上を続ける態度（生涯学習力）	3	卒業後も自律・自立して学習できる。
				4	目標を設定し、自ら進んで取り組むことができる。
		C	情報収集－分析－解釈－表現－発信する力（課題を解決する力）	5	問題を発見し、必要な情報を収集・分析・整理し、解決できる。
				6	獲得した知識・技能を総合的に活用し、課題に適用し、解決できる。
				7	情報を構造化し、分析・評価・統合し、論理的に活用できる。
		D	創造し表現する力（創造力）	8	自然や社会的事象について、様々な表現方法を用いて分析し、他者に伝達できる。
				9	情報や知識を多角的・論理的に分析し、表現できる。
				10	既存の知識を活用して、新しい価値(アイデア、生産物、方法等)を生みだせる。
キャリア科目において身につけるべき「学士力」	E	コミュニケーションの力、協働する力（社会性）	11	自分の意見をわかりやすく伝えることができる。	
			12	相手の意見を丁寧に聞くことができる。	
			13	多様なメディアを主体的に利用し、他者と連携できる。	
			14	他者と協調して行動できる。	
			15	他者に目標や方向性を示し、その実現のために行動できる。	
			16	自分と周囲の人々や物事の関係性を理解できる。	
	F	社会の一員として責任ある行動をする力（市民性）	17	自己の良心及び法規範・社会のルールに従って行動できる。	
			18	よりよい社会を実現するために、自らの資質を活かして積極的に社会に関与できる。	
	G	自己を統べる力（倫理観）	19	自らを律して行動できる。	
			20	状況や変化に沉着な対応を行い、適正な行動ができる。	
専門教育科目において身につけるべき学士力	心理専攻	H	心理学の知識・技能を理解する力	21	統計的なデータを読み取り、科学的根拠を用いて説明できる。
				22	子どもの多様な発達プロセスを科学的にとらえることができる。
				23	人の行動や言葉の深い意味を理解できる。
				24	心理学的な枠組みで人間の心の動きを理解できる。
		I	人間理解を深める力	25	行動や感情の自己管理ができる。
				26	他者の立場に立ち、共感的に理解し関わるることができる。
				27	全体を俯瞰しながら、他者の置かれた状況を的確に判断し、適切な援助ができる。
				28	他者の立場を理解し、尊重しつつ、自分の意見も主張できる。
				29	状況に応じた社会的スキルを身につけている。
				30	自らの感情や心の状態を理解し、調整することができる。
	こども保育・教育専攻	J	保育・授業場面で活かせる力	31	子どもの行動に対して、すばやく応じることができる。
				32	場面に必要な表現ができる。
				33	月案・週案・保育教育指導案等の計画を作成できる。
				34	月案・週案・保育教育指導案等の計画に基づいた実践ができる。
				35	円滑に担当クラスの運営を行える。
				36	保育・教育に必要な教材を創造・開発できる。
				37	実践に基づいた正確な記録を作成し、記述できる。
				38	自身を含めた保育・教育者の実践に対して適正な評価を行える。
	モチベーション行動科学部	N	組織を動かす力	39	多様な情報を収集し、分析できる。
				40	子どもの行動を把握し、分析・考察できる。
41				子どもの成長・発達に対して適正な評価が行える。	
42				場面での環境を把握し、場面に求められる環境を作り出せる。	
43				組織内外の人たちと連携・協働できる。	
L	個人をみつめる力	44	自分自身を受け入れることができる。		
		45	人間の成長発達を理解できる。		
		46	客観的な視点で人間行動を理解し分析できる。		
M	他者とかかわる力	47	モチベーションやリーダーシップに関する専門的知識に基づいて行動できる。		
		48	他者を肯定的に理解することができる。		
		49	対人コミュニケーション理論にもとづいたコミュニケーションができる。		
N	組織を動かす力	50	自分の関わる企業・組織や市場の情報を収集することができる。		
		51	他者に情報を適切に伝達する素材をつくることができる。		
		52	組織のなかで自分の立場を理解し、運営にかかわることができる。		
N	組織を動かす力	53	国内外の社会情勢を理解する広い視野をもつことができる。		
		54	組織経営を円滑化する戦略的な思考ができる。		
		55	さまざまな実践経験をもとに地域の人ひとと連携できる。		

# こども心理学部の教育

## 教育の目的

～こども心理学部ではこんな人材を養成します～

### こども心理学部の教育目的

日本の未来を担う子どもの豊かな成長を、家庭、学校、地域社会及びそれらを取りまく文化との相互関係という視点から捉え、単に知識や技能を修得するにとどまらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、真に社会に役立つ人材を養成する。

### 心理専攻の教育目的

幅広い教養とキャリア教育を前提とし、子どもを中心としたあらゆる年代を対象とした心理学の基礎的概念を修得し、心理学の理論や方法論に依拠した科学者－実践家モデルを基盤にしながら、人の健全な発達・学びを促すための理論的理解と実践力を養い、あわせて課程外における活動を通して「高度な専門的知識と技能」とともに「豊かな心」を併せ持った人材を養成する。

### こども保育・教育専攻の教育目的

幅広い教養とキャリア教育を前提とし、未来を担う子どもたちの健全な発達・学びを促すために必要となる、子どもの保育学的・教育的な理解に根ざした「高度な専門的知識と技能」とともに「豊かな心」を併せ持った人材を養成する。講義や演習及び実習さらには課程外における活動を通して理論的な理解力と実践力を併せ持った保育者・教育者を養成する。

## 卒業・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

～こども心理学部を卒業し、学位の授与をうけるために身につけるべき力～

### こども心理学部の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

幅広い教養及び心理学、保育学及び教育学の専門的な知識を修得し、社会に貢献しうる者に学位を授与する。学位の授与にあたっては、通信課程では所定の単位を修得した者に「学士(こども心理学)」を授与する。通学課程では最終学年において卒業研究・卒業論文を完成し提出しなければならない。卒業研究・卒業論文の審査に合格し、卒業研究・卒業論文を含めた所定の単位を修得した者に心理専攻では「学士(心理学)」、こども保育・教育専攻では、「学士(保育・教育学)」を授与する。

卒業までの学びの到達目標は、学部で定めた「学士力」(人間性や心の豊かさを培うスキル)に基づき以下の通り設定される。

(1) 専門的知識と技能を身につけること。

学士にふさわしい教養と、子どもを中心としたあらゆる年代の人の健康な発達や学び、臨床的課題やそれらへの介入法、領域や教科の内容や指導方法など、心理学、保育学及び教育学の領域における専門的知識と技能を修得している。

(2) 研究する力を身につけること。

子どもや彼らを取りまく人と環境との関わりを研究し、その研究知見を適切に社会で用い、貢献できる力を修得している。

(3) 資格に適う力を身につけること。

得られた資格に係る専門的知識や技能を修得し、それらを適切に社会で用い、貢献できる力を修得している。

(4) 社会に貢献する力を身につけること。

子どもに関連する産業をはじめ、多様な職業において発揮しうる知識と技能及び人間性を備え、社会に貢献できる力を修得している。

## 心理専攻の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

以下の要件を満たす人材を養成する。

○自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。

○子どもを中心としたあらゆる年代の人の心理学に関して、学士として十分な専門的知識・技能を修得している。

○教育・保育・福祉領域などにおける心理職としての専門的な知識を有し、実践的な力を発揮することができる技能を修得している。

○実社会で活躍できるような、本学の共通及び専攻が指定した学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。

## こども保育・教育専攻の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

以下の要件を満たす人材を養成する。

○自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。

○子どもの心身の健全な発達についての高度な専門性を発揮できる職種である、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、福祉職種に向けた職能を修得するように努めている。

○上記職種に限らず、家庭との関わり、環境や文化との関わりの中で育つ子どもに関する専門的知識・技能を利活用できる就業力を修得している。

○実社会で活躍できるような、本学の共通及び専攻が指定した学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。

## 教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)

～教育の目的を達成するために用意した教育プログラムの編成方針を示します～

### こども心理学部の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能の修得を円滑に進めることができるよう、一般教育科目、専門教育科目、キャリア科目（キャリア科目は通学課程のみ）の下に科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講する。

(1) 一般教育科目では、社会・文化・自然に対する視点や考え方を育てることを目的とする教養科目、憲法、体育、情報、語学を学び、学生自身の理解度と学習進度に合った授業を行う。

(2) 専門科目では、以下の要件を骨子とした教育を行う。

○子どもの「こころ」の発達過程と特性に関する基礎理論及び子どもを中心としたあらゆる年代の人の心理を理解し、健康な心を養うための最新の実践的手法を学ぶ。

○健全な発達を担う心理学、保育学及び教育学に関する高度な専門的知識と技術を養い、資格・免許の取得にふさわしい社会に貢献できる人材を養う。

○子どもを中心としたあらゆる年代の人の健全な発達や学びに必要な環境条件や文化について理解を深め、社会で幅広く活躍できる応用力を身につける。

○責任ある社会人にふさわしい教養と、社会的知識と技能を身につける。

(3) キャリア科目では、学内外で社会に触れる機会を設け、知識・技能を実践に活かす力を身につけることを目的に、早い時期からのキャリア教育に取り組む。

(4)プロジェクト（課程外活動）において修得した専門的知識と技能を発揮することを通して、資格・免許の取得にふさわしく、社会に貢献しうる自立した人間性や心の豊かさの充実を図る。

(5)本学の共通及び学部が指定する学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）の形成を目指す。

## 心理専攻の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)

---

幅広い教養及びキャリア教育を1年次から履修することと同時に、子どもを中心としたあらゆる年代の人の心理と行動の理解を基盤とした以下の教育を行う。

○心理学の様々な領域における体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。

○心理学以外の分野の学び、また、人と家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりを通して、人間理解を深める。

○卒業研究科目では、こども心理演習Ⅰ（3年次）、こども心理演習Ⅱ（3年次）、卒業研究・卒業論文を必修として全員に課し、学問研究を深める。

○本学の共通及び専攻が指定する学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）の形成を目指す。

## こども保育・教育専攻の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)

---

幅広い教養及びキャリア教育を1年次から履修することと同時に、子どもの「こころ」と「からだ」の健全な発達の理解を基盤とした以下の教育を行う。

○子ども理解に根ざした心理学・保育学・教育学・福祉学等に関する体系的・実践的な知識・技能を学ぶ。

○子どもの「育ち」と家庭や社会、地域等の環境や文化との関わりについて理解を深める。

○卒業研究科目では、こども保育・教育演習Ⅰ（3年次）、こども保育・教育演習Ⅱ（3年次）、卒業研究・卒業論文を必修として全員に課し、学問研究を深める。

○本学の共通及び専攻が指定する学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）の形成を目指す。

# モチベーション行動科学部の教育

## 教育の目的

～モチベーション行動科学部ではこんな人材を養成します～

### モチベーション行動科学科の教育目的

社会で必要とされる、「組織成員として組織の健全な発展に貢献するモチベーション」、「他者を理解し円滑な対人関係を志向するモチベーション」、「広い関心と学びを促すモチベーション」を学び理解することにより、自己を含め、所属する集団や組織、地域・社会とその成員に対して影響力を与え、活性化をすることのできる人材を養成する。

## 卒業・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

～モチベーション行動科学部を卒業し、学位の授与をうけるために身につけるべき力～

### モチベーション行動科学科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群にわたって専門的な知識を修得し、社会に貢献しうる者に学位を授与する。学位の授与にあたっては最終学年で卒業研究の審査に合格し、卒業研究を含めた所定の単位を修得した者に「学士（行動科学）」の学位を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。

- (1) 個人をみつめる力を身につけること。客観的な視点で人間行動を理解し分析することができ、モチベーションやリーダーシップに関する専門的知識を備え、所属する集団や組織、社会における成員の活動を促進する力を修得している。
- (2) 他者と関わる力を身につけること。他者を肯定的に理解することができ、他者と円滑な対人関係を構築できる高いコミュニケーション能力と対人関係スキルを身につけ、他者や社会とより健全な関わりをもつ力を修得している。
- (3) 組織を動かす力を身につけること。集団・組織の中で自分の立場を理解し、組織行動に関する基礎的知識を備え、組織活性化や人材の育成に取り組む力を修得している

## 教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)

～教育の目的を達成するために用意した教育プログラムの編成方針を示します～

### モチベーション行動科学科の教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる知識・技能の修得を円滑に進めることができるよう、一般教育科目、専門教育科目、キャリア科目、演習科目の下に科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講する。

- (1) 一般教育科目では、社会・文化・自然に対する視点や考え方を育てることを目的とする教養科目、憲法、体育、情報、語学を学び、学生自身の理解度と学習進度に合った授業を行う。
- (2) 専門教育科目は、心理・コミュニケーション、経営、教育の科目群を必修とする。このうち、学びの基盤となるのは心理・コミュニケーション科目群であり、この科目群に置かれた科目を学ぶ中で、モチベーション行動科学の基礎となる研究マインドやデータ分析に関する知識と技能、コミュニケーション・スキルを身につけ、さらに経営科目群、教育科目群に置かれた科目を学ぶことで、各科目群が複合的に結びつき、広い視野での学びを可能にする。
- (3) キャリア科目では、学内外で社会に触れる機会を設け、知識・技能を実践に活かす力を身につけることを目的に、早い時期からのキャリア教育に取り組む。
- (4) プロジェクト（課程外活動）を通して、個人を見つめ、他者と関わり、組織を動かす自立した人間性や心の豊かさの充実を図る。
- (5) 幅広い教養及びキャリア教育及び専門科目を1年次から同時に履修するとともに、通学課程の演習科目では、1年次から卒業時まで学生一人一人の学修を促進するために、基礎演習（1年～2年次）、専門演習（3年次）、卒業研究（4年次）を必修とする。また、単位には含まれないが、学生は複数の専門演習やゼミに参加することも認められ（「ダブル・ゼミ」）、複合的な視点から学修を進める。

## 4. カリキュラムの構成イメージ1(カリキュラム・マップ)

### —4年間の履修計画の策定—

各学科・専攻ごとにカリキュラム編成方針（カリキュラム・ポリシー）が示されていることは説明しましたが、具体的にどのように科目が配置されているかを示したものが「カリキュラム・マップ」です。このマップをもとに、卒業までの4年間でどのように科目を履修していくのかといったイメージを作ります。

資料編の学科・専攻の「カリキュラム・マップ」、幼稚園・小学校教諭免許状・保育士資格取得のための「資格免許カリキュラム・マップ」を参照してください。

## 5. カリキュラムの構成イメージ2(ナンバリング)

### —科目履修の順番—

先に示した「カリキュラム・マップ」で4年間の履修をイメージしたところで、具体的にどの科目をどういう順番で履修していくかを示したものが「ナンバリング表」です。

このナンバリング表は、科目の区分や難易度をもとに附番されています。後に説明する「履修モデル」を併せて確認してください。(資料編「ナンバリング一覧表」参照)

科目ナンバーの構成

①	②	③	④	⑤	⑥
X	A	A	A	101	A

①	通学課程、通信教育課程の別 X=通学課程、Y=通信教育課程
②	科目主催(適用カリキュラム) A=全学部共通、B=心理専攻、C=こども保育・教育専攻、D=こども心理学部共通、 E=モチベーション行動科学科、F=心理専攻・モチベーション行動科学部共通
③	科目領域(科目区分) A=教養(自然科学)、B=教養(人文)、C=教養(社会)、D=スポーツ科目群、 E=情報処理科目群、F=外国語科目群、G=憲法 H=キャリア科目 (こども心理学部) I=基礎・基幹科目、J=心理専攻展開科目、K=こども保育・教育専攻展開科目、 L=こども心理学部卒業研究科目 (モチベーション行動科学部) M=心理・コミュニケーション科目群、N=経営科目群、O=教育科目群、P=演習科目群 (課程外科目) Q=課程外科目 R=数理データサイエンス科目群
④	開講ターム A=1年春、B=1年秋、C=2年春、D=2年秋、E=3年春、F=3年秋、G=4年春、H=4年秋 ※通年科目は、開講開始時期を表示(卒業研究であればG=4年春)
⑤	科目の難易度 100番台：初級レベル 200番台：中級レベル 300番台：上級レベル 400番台：卒業研究・学びの集大成となる科目
⑥	複数クラス開設時の整理コード(管理番号) A、B、C・・・

## 6. 科目選択の基準(シラバスの見方)

### —授業科目選択にあたっての資料—

シラバス (Syllabus) とは……。

シラバスとは、授業要項のことです。

授業担当教員が 1 年間、あるいは半年間の授業計画を、学生に伝えるためのもので、その年度に各学部で開設されている授業科目における概要として、講義名、授業のテーマと目標、授業の内容と計画、事前学習・事後学習、成績評価方法と基準、学生へのメッセージ、教科書・参考書などの情報が記載されています。

各科目のシラバスは、項目別に説明が記載されています。各項目の見方については、以下を参照してください。

シラバスは CoLS から確認することができます。詳しい検索方法は「履修登録要項」で確認してください。

シラバスの各項目について (見方と活用)

講義名	授業科目の名称を明記しています。
教員	授業科目を担当する教員名を明記しています。
単位	授業科目の単位数を明記しています。
開講時期	授業が開講されている時期 (春学期・秋学期・通年) の別を明記しています。
曜日・時限	開講されている授業の曜日と時限を明記しています。 同一科目名でも曜日・時限が異なる場合がありますので、必ず時間割表でもあわせて確認してください。
科目番号 (科目ナンバリング)	科目番号 (科目ナンバリング) は、学生に教育課程の体系が容易に理解できるよう、科目間の連携や科目内容の難易を表す番号をつけ、教育課程の構造を分かりやすく明示しています。
授業のテーマと到達目標	該当科目の授業のテーマ (概要) 及び授業の目的 (意義) を簡潔に明記しています。授業の到達目標に記載されている事項は、単位付与に必要な到達点です。
初年次教育に係る科目	初年次教育とは初年次において以下の内容を取り扱うことを指します。 ※初年次教育を行う旨説明のある科目のみ記入してください。 ・一般的に大学での学修に必要な文章作成 (読み・書き) や学習計画や目標設定について学ぶ ・専門的学修のための必要な心構えや基礎能力を養成する。 ・大学での学修に必要な PC スキル、レポートやプレゼンテーション資料の作成と手法、その他情報の活用などについて学ぶ
身につけるべき学士力	授業で身につけるべき力を意味し、授業のテーマと目標と関連して、その授業科目を修得することで到達できると考えられる目標を明記しています。なお、この学士力を身につけることが単位取得の要件になります。
授業の内容と計画	各回の「テーマ」「内容」を明記しています。なお、計画については、授業の進行具合や受講学生の興味・関心に合わせて適宜変更することもあります。
事前学習・事後学習	事前学習・事後学習とは、授業時間以外に学生が自主的に行う学習のことです。各回の授業を行うにあたり、授業計画をみて事前に学んでおいた方がよい知識・情報が必要と思われるものについて記載されています。また、準備学習・復習・宿題等の内容を具体的に記述するように努めています。
アクティブ・ラーニングの実施	アクティブ・ラーニングとは、能動的学修のことを差し、学生が受け身ではなく、自ら能動的 (自分から他に積極的に働きかける、自分の方から他に作用を及ぼす) に学びに向かうよう設計された教授・学習法のことです。 具体的には、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等があげられ、その授業における実施内容について明記しています。学修者の認知的、倫理的、社会的な能力、教養、知識、経験といった能力を育むことが目的とされています。
ICTの活用	ICTとは、情報通信技術の活用を意味しており、その授業で活用するICTの

	<p>具体的内容が明記されています。</p> <p>授業担当教員が授業の目的を示したり、課題への興味関心を高めたり、授業内容をわかりやすく説明したりするために、指導方法の一つとしてICTを活用しており、その具体的内容を明記し、多様な教育の提供や学習環境の向上を図ることを目指しています。</p>
実務経験を生かした授業の実施	<p>担当する授業科目に関連した実務経験を有する教員が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目について明記しています。</p> <p>授業を担当する教員が、教育・保育現場、心理臨床現場、民間企業などでの実務経験について明記しています。また、その実務経験を、授業回数のいずれかにどのように生かしているのか等について明記しています。</p>
SDGsに係る科目	<p>授業においてSDGs「17の目標」のうち「169のターゲット」のいずれかに関連する授業内容を含む場合は記入します。</p> <p>これはSDGsに即した授業実施をお願いするものではなく、あらかじめ準備されている授業内容に関連する事項（SDGsの169のターゲットに関する理解を深める内容）を扱っていると思われる場合は記入します。</p>
成績評価の方法と基準	<p>成績を評価する方法（試験、課題、出欠等）やその配点基準などを明記しています。</p> <p>期末試験・小テスト・レポート課題・宿題など、要素ごとの配分を示し、学生の皆さんがどのように取り組めば、高い評価を得られるのかが把握でき、効率的な学習につながります。</p>
課題に対するフィードバック方法	<p>課題(試験やレポート等)に対するフィードバック、要望やメッセージ等への対応方法を記入してください。</p>
学生へのメッセージ	<p>授業を履修することの意義や心がまえ、遅刻や欠席、授業内ルールについて、留意点を明記しています。</p> <p>また、この科目を学ぶことについての心構え等、学生へのメッセージについて、明記しています。</p>
オフィスアワー	<p>担当科目に関連する学生の質問や相談に、教員が個別に応じる時間を設定するオフィスアワー制度を設けています。対応が可能な時間や場所を明記しています。</p> <p>各教員の相談日などを利用して、気軽にご相談ください。</p>
教科書、参考書	<p>授業で使用する教科書や副読本、問題集、参考図書などを明記しています。</p> <p>教科書は、授業内で実際に使用する教科書を明示しています。授業開始前までに必ず準備してから授業に臨んでください。</p> <p>参考書は、必ずしも授業内では使用しませんが、授業内容に関連して読んでおいたほうが良い文献を明記しています。</p>
その他	<p>生成AIを授業の中で使用する場合は、使用方法、使用の範囲を明記しています。</p> <p>1回目の授業時に使用方法、使用の範囲、注意点等の詳細について、学生が理解できるように説明をするよう明記しています。</p>

## 7. 履修モデル

### —具体的な科目の履修例—

先に説明したカリキュラム・マップとナンバリングをもとに具体的な履修例を次頁に示します。1年次から卒業までにどのように授業を履修していくかを例示しています。ただし、実際は修得すべき学年で単位を落としてしまったり、時間割の構成上、時間帯が重なって履修できない選択科目があるなど、学生個々の状況によって異なりますので、あくまで参考としてイメージ作りの材料としてください。

## 履修モデル1 (心理専攻)

公認心理師資格の要件科目を充足しようとする場合の履修例です。

あくまで履修モデルですので、履修計画の立て方及び履修状況によっては実際の履修とは異なる場合があります。

	1 年次		2 年次		3 年次			
	春学期	秋学期	春学期	秋学期		春学期	秋学期	
憲法	※選択科目(2)	※選択科目(4)	※選択科目(2) ◆GPA3.5 以上 であれば 4 単位 追加	※選択科目(4)	教養科目	※選択科目(4)		
科目	英語 I (2)	英語コミュニケーション I (2) リスニング(2)	英語 II (2)	英語コミュニケーション II (2)	展開科目	司法・犯罪心理学 (2) 福祉心理学(2) 学習・言語心理学 A(2) ※選択科目1 科目 2 単位以上	子どもの保育・教 育科目群から3 科 目(6) こども心理演習 II (2) 学習・言語心理学 B (2)	
スポーツ	体育実技 A(1)		レクリエーション 論(2)			他学部 開講科目	産業・組織心理学 (2)	
情報	情報科学概論(2) 情報処理基礎 I (2)						合計単位数	16 単位
基礎科目	子ども学(2) 心理学概論(こ ころの形成)(2) 心理学概論(こ ころの理解)(2)	乳幼児心理学(2) 臨床心理学概論 (2) 子どもの心理学 (総論)(2)				課程外科目	人体の構造と機能 及び疾病(2)	関係行政論(2) 精神疾患とその治 療(2) 心理演習(2)
基幹科目	教育・学校心理 学 A(2)	心理学研究法(2) 心理学統計法 I (2)	心理学的支援法 (2) 感情・人格心理学 A(2) 発達心理学(2)	心理的アセスメン ト(2) 心理調査概論(2) 青年心理学(2)		4 年次		
展開科目	社会・集団・家 族心理学 A(2)	障害者・障害児心 理学(2)	知覚・認知心理学 (2) 教育・学校心理学 B(2) 心理学統計法 II (2) 心理学実験(2) 社会・集団・家族 心理学 B(2)	感情・人格心理学 B(2) 神経・生理心理学 (2) 健康・医療心理学 (2) 社会・集団・家族 心理学 C(2) 心理学応用研究法 実習 A(2) 対人コミュニケー ション論(2)	卒業研究	卒業研究・卒業論文(4)		
	合計単位数	24 単位	23 単位 (GPA 3.5 以上 の場合は 4 単 位追加)	23 単位 (GPA 3.5 以上 の場合は 4 単 位追加)	25 単位 (GPA 3.5 以上 の場合は 3 単 位追加)	合計単位数	4 単位	
課程外			心理学英書講読 A(2)	心理学英書講読 B(2) 公認心理師の職 責(2)	課程外科目	心理実習(2)		

## 履修モデル2 (こども保育・教育専攻 幼保モデル)

保育士資格・幼稚園教諭一種免許状の両方を取得しようとする場合の例です。

あくまで履修モデルですので、履修計画の立て方及び履修状況によっては実際の履修とは異なります。

	1 年次		2 年次		3 年次		
	春学期	秋学期	春学期	秋学期		春学期	秋学期
教養科目・ 憲法	日本国憲法(2) ※選択科目(2)	※選択科目(2)	※選択科目(2)	※選択科目(2)	教養科目	※教養科目(4)	
科目 外国語	英語Ⅰ(2)	英語コミュニケーションⅠ(2) リスニング(2)	英語Ⅱ(2)		展開科目	保育カリキュラム論(計画と評価)(2) 健康指導法(2) 環境指導法(2) 言葉指導法(2) 特別支援教育(2) 発達障害と課題(2) 比較教育制度論(2)  (保育実習ⅠB事前事後指導(1)) (保育実習ⅠB(2))	比較教育制度論(2) カウンセリング論(2) 幼児理解と保育相談(2) 総合的な学習の指導法(2) 家庭支援論(2) 親子関係の心理学(2)  (教育実習指導Ⅱ事前事後指導(1))
スポーツ	体育実技A(1)		体育理論(2)				
情報	情報科学概論(2) 情報処理基礎Ⅰ(2)						
基礎科目	子ども学(2) 心理学概論(こころの形成)(2) 心理学概論(こころの理解)(2)	乳幼児心理学(2) 臨床心理学概論(2) 子どもの心理学(総論)(2)					
基幹科目	教育学概論(2) 保育原理(2)	教育心理学(2)	情報通信機器を活用した教育の方法と技術(2) 発達心理学(2)				
展開科目	音楽実技ⅠA(1) 乳児保育Ⅰ(2)	音楽実技ⅠB(1) 子ども美術(2) 子ども家庭福祉(2) 社会福祉(2) 乳児保育Ⅱ(1) 表現(1)	音楽実技ⅡA(1) 子ども音楽(2) 保育内容総論(2) 造形表現指導法(2) 社会的養護Ⅰ(2) 子どもの保健(2) 子どもの食と栄養(2) 人間関係(1) 環境(1)  (教育実習事前事後指導Ⅰ) (教育実習Ⅰ)	音楽実技ⅡB(1) 生活(2) 子ども体育(2) 保育・教職論(2) 子どもと言葉(2) 人間関係指導法(2) 音楽表現指導法(2) 障害児保育(2) 社会的養護Ⅱ(1) 健康(1) 言葉(1) 学校安全(2) 子どもの健康と安全(2) 発達障害学(2) (保育実習ⅠA事前事後指導) (保育実習ⅠA)			
					合計単位数	20 単位	16 単位
						<b>4 年次</b>	
キャリア科目	プレゼンテーションⅠ(2) カレッジ&キャリアスキルズA(1)	プレゼンテーションⅡ(2) カレッジ&キャリアスキルズB(1)	キャリアデザインA(1) 国語表現(2)	キャリアデザインB(1)		在宅保育研究(2)  (保育実習Ⅱ(Ⅲ)事前事後指導(1))	(保育実習Ⅱ(Ⅲ)) 教職実践演習(幼・小)(2) 保育実践演習(2)
						卒業研究・卒業論文(4)	
合計単位数	27 単位	28 単位 (GPA 3.5 以上の場合は 4 単位追加)	28 単位 (GPA 3.5 以上の場合は 4 単位追加)	27 単位 (GPA 3.5 以上の場合は 5 単位追加)	合計単位数	2 単位	8 単位

※実習関係科目は履修登録上限に含まないので合計単位数には含んでいない。

### 履修モデル3 (こども保育・教育専攻 小幼モデル)

幼稚園教諭一種・小学校一種免許状の両方を取得しようとする場合の例です。  
あくまで履修モデルですので、履修計画の立て方及び履修状況によっては実際の履修とは異なります。

	1 年次		2 年次		3 年次			
	春学期	秋学期	春学期	秋学期		春学期	秋学期	
教養科目・ 憲法	日本国憲法(2) 選択科目(4)			※選択科目(6)	教養科目	※選択科目(2)		
科目 外国語	英語Ⅰ(2)	英語コミュニケーションⅠ(2) リスニング(2)	英語Ⅱ(2)		展開科目	子ども教育課程論(2) 健康指導法(2) 環境指導法(2) 言葉指導法(2) 特別支援教育(2) 初等生活科教育法(2) 初等音楽科教育法(2) 初等体育科指導法(2) 生徒・進路指導(2) 初等英語(2)	初等英語科教育法(2) 比較教育制度論(2) 特別活動(2) 教育相談(2) 総合的な学習の指導法(2) カウンセリング論(2) 幼児理解と保育相談(2) 発達障害学(2) (教育実習指導事前事後(1))	
スポーツ	体育実技 A(1)		体育理論(2)			司法・犯罪心理学(2) 発達の課題と障害(2)		
情報	情報科学概論(2) 情報処理基礎Ⅰ(2)					(教育実習Ⅰ事前事後指導(1)) (教育実習Ⅰ(2)) (介護等体験)		
基礎科目	子ども学(2) 心理学概論(こころの形成)(2) 心理学概論(こころの理解)(2)	乳幼児心理学(2) 臨床心理学概論(2) 子どもの心理学(総論)(2)				子ども保育・教育演習Ⅰ(2)	子ども保育・教育演習Ⅱ(2)	
基幹科目	教育学概論(2) 保育原理(2)	教育心理学(2)	情報通信機器を活用した教育の方法と技術(2) 発達心理学(2)			合計単位数	28 単位	18 単位
展開科目	音楽実技ⅠA(1)	音楽実技ⅠB(1) 社会(2) 理科(2) 家庭(2) 子ども美術(2) 表現(1) 子ども家庭福祉(2)	国語(2) 子ども音楽(2) 音楽実技ⅡA(1) 造形表現指導法(2) 保育内容総論(2) 人間関係(1) 環境(1) 初等社会科教育法(2) 初等理科教育法(2) 初等家庭科教育法(2) 道徳教育(2) 保育。教育ボランティア実習(1)	生活(2) 子ども体育(2) 音楽実技ⅡB(1) 教職論(2) 人間関係指導法(2) 音楽表現指導法(2) 健康(1) 言葉(1) 初等国語科教育法(2) 初等算数科教育法(2) 初等図画工作科教育法(2) 保育。教育ボランティア実習(1) 学校安全(2)		卒業研究科目		
	キャリア科目	プレゼンテーションⅠ(2) カレッジ&キャリアスキルズ A(1)	プレゼンテーションⅡ(2) カレッジ&キャリアスキルズ B(1)	キャリアデザイン A(1) 国語表現(2)	キャリアデザイン B(1)	春学期	秋学期	
合計単位数	27 単位	27 単位 (GPA3.5 以上の場合は 5 単位追加)	27 単位 (GPA3.5 以上の場合は 5 単位追加)	28 単位 (GPA3.5 以上の場合は 4 単位追加)	卒業研究・卒業論文(4)	一単位	6 単位	

※実習関係科目は履修登録上限に含まないので合計単位数には含んでいない。

## 履修モデル4 (モチベーション行動科学部)

海外諸事情に関心のある場合の履修例です。

あくまで履修モデルですので、履修計画の立て方及び履修状況によっては実際の履修とは異なる場合があります。

	1 年次		2 年次		3 年次		
	春学期	秋学期	春学期	秋学期		春学期	秋学期
教養科目	※選択科目(4)	※選択科目(2)	※選択科目(2)	※選択科目(4)	外国語	ビジネス英語(2)	
外国語科目	英語 I (2)	英語コミュニケーション I (2) リスニング(2)	アカデミック・リーディング(2)	アカデミック・リーディング&ライティング(2)	心理コミュニケーション科目群	福祉心理学(2) 産業・組織心理学(2) クリティカル・シンキング(2) 感情・人格心理学 B(2)	ポジティブ心理学(2) エイジングの心理学(2)
スポーツ	体育実技 A(1)		レクリエーション論(2)		経営科目群	都市経営論(2)	公共サービス論(2)
情報	情報科学概論(2) 情報処理基礎 I (2)				教育科目群	異文化コミュニケーション(2) 地理学 I (2) 教育福祉論(2)	NPO と市民活動(2)
心理コミュニケーション科目群	心理学概論(2)	心理学研究法(2) 心理学統計法 I (2) 臨床心理学概論(2)	心理学実験(2) モチベーション論 I (2) 発達心理学(2)	モチベーション論 II (2) コミュニケーションの心理学(2) 感情・人格心理学 A(2)	演習科目	専門演習 I (2)	専門演習 II (2)
経営科目群	経営学概論(2)	国際経済(2)	公共経営と政策(2) グローバルビジネス(2)	国際法(2) 多文化共生社会論(2)	合計単位数	20 単位	10 単位
教育科目群	日本史 I (2)	教育学概論(2) 日本史 II (2)	外国史 I (2) 国際理解教育(2)	地域史論(2) 外国史 II (2) 海外文化交流(2)	<b>4 年次</b>		
キャリア科	プレゼンテーション I (2) カレッジ&キャリアスキル A(1) 地域連携 I (2)	プレゼンテーション II (2) カレッジ&キャリアスキル B(1) 地域連携 II (1)	キャリアデザイン A(1) キャリア形成論(2)	キャリアデザイン B(1)	演習科目	卒業研究(4)	
演習科目	基礎演習 I (1)	基礎演習 II (1)	基礎演習 III (1)	基礎演習 IV (1)	合計単位数	4 単位	
合計単位数	23 単位	24 単位 (GPA 3.5 以上で、さらに4 単位登録可能)	24 単位 (GPA 3.5 以上で、さらに4 単位登録可能)	24 単位 (GPA 3.5 以上で、さらに4 単位登録可能)			

# 資料編

Study at Tokyo Future University

# こども心理学部こども心理学科心理専攻カリキュラムマップ

## ディプロマポリシー

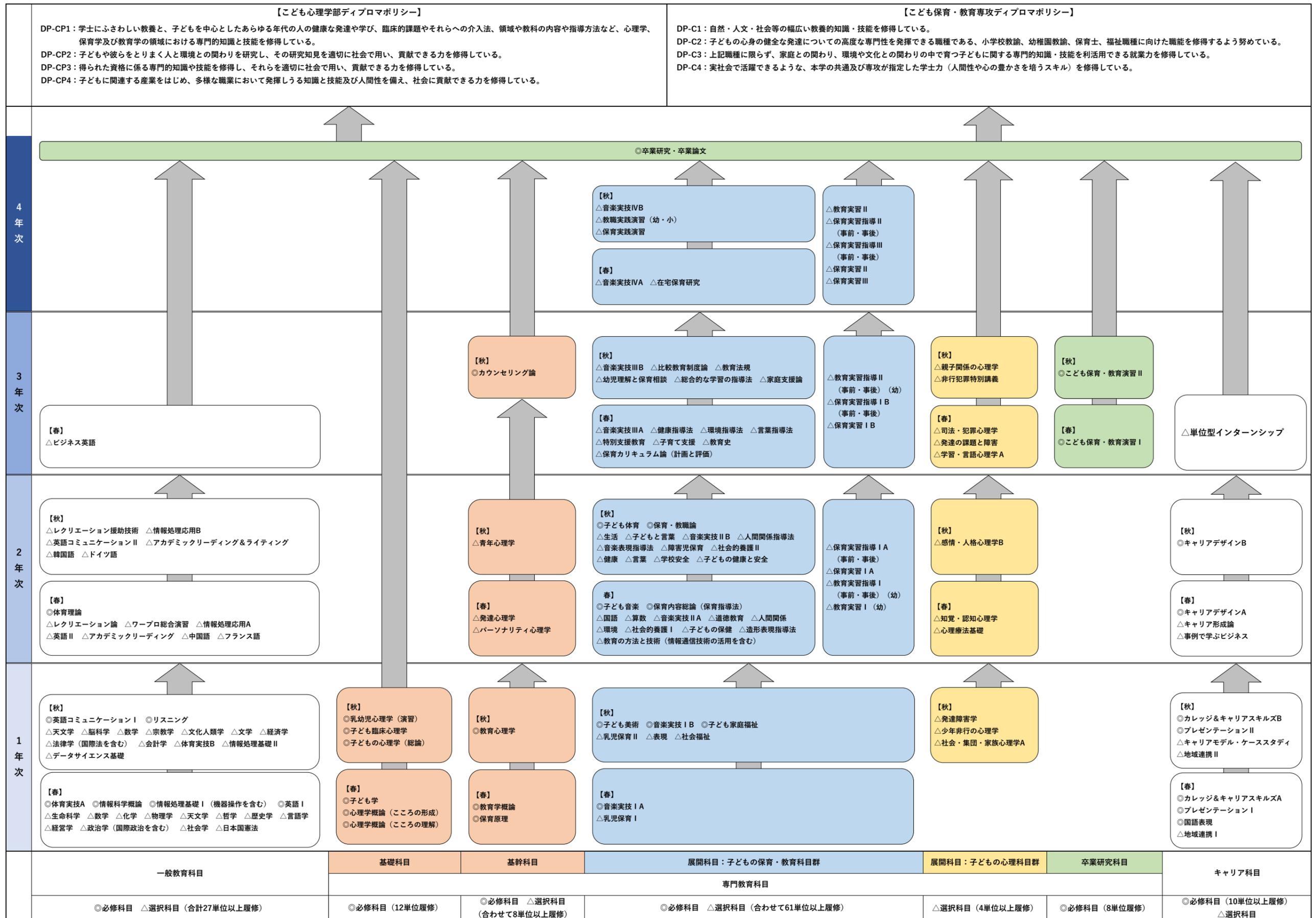
自然・人文・社会等の幅広い教養的知識・技能を修得している。  
 子どもを中心としたあらゆる年代の人の心理学に関して、学士として十分な専門的知識・技能を修得している。

教育・保育・福祉領域などにおける心理職としての専門的な知識を有し、実践的な力を発揮 することができる技能を修得している。  
 実社会で活躍できるような、本学の共通及び専攻が指定した学士力（人間性や心の豊かさを培うスキル）を修得している。

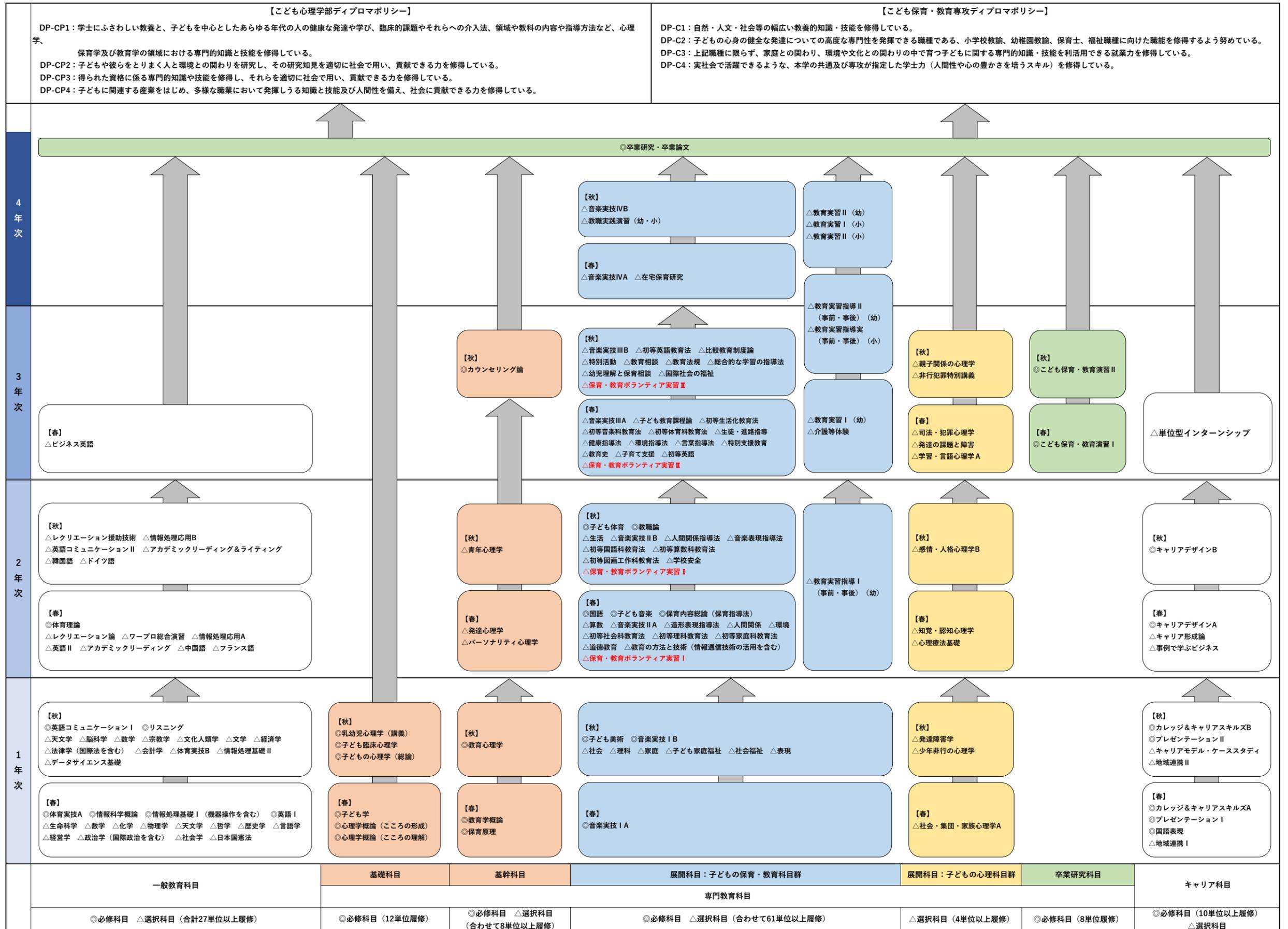
4 年 次					卒業研究・卒業論文			心理実習	
3 年 次	【外国語科目群】ビジネス英語			心理学統計法III 心理的アセスメント上級 文化心理学 非行犯罪特別講義 学習・言語心理学A 学習・言語心理学B 比較行動学 発達課題と障害 福祉心理学 子育てカンファレンス 司法・犯罪心理学 産業カウンセリング 対人コミュニケーションスキル 発達生理心理学 親子関係の心理学 心理療法上級A 心理療法上級B 心理学応用研究法実習B	家庭支援論 幼児理解と保育相談 比較教育制度論	こども心理演習II こども心理演習I	単位型インターンシップ	エイジングの心理学 ストレスマネジメント論 産業・組織心理学 心理演習 精神疾患とその治療 関係行政論 人体の構造と機能及び疾病	
2 年 次	【スポーツ科目群】レクリエーション論 体育理論 レクリエーション援助技術 【情報処理科目群】情報処理応用A 情報処理応用B ワープロ総合演習 【外国語科目群】英語II 英語コミュニケーションII アカデミック・リーディング アカデミック・リーディング&ライティング 中国語 フランス語 韓国語 ドイツ語		心理調査概論 青年心理学 発達心理学 感情・人格心理学A 心理的アセスメント 心理学的支援法	心理学応用研究法実習A 子ども心理学特別講義 対人コミュニケーション論 健康・医療心理学 子ども心理学実践実習 感情・人格心理学B 神経・生理心理学 社会・集団・家族心理学B 社会・集団・家族心理学C 教育・学校心理学B 子ども文化 知覚・認知心理学 心理療法基礎 心理学統計法II 心理学実験	社会福祉 教職論 道徳教育		事例で学ぶビジネス キャリア形成論 キャリアデザインB キャリアデザインA	消費者の行動と心理 公認心理師の職責 心理学英書講読B 心理学英書講読A	
1 年 次	【教養科目群（自然科学）】生命科学 化学 数学 物理学 脳科学 天文学 【教養科目群（人文）】哲学 歴史学 言語学 宗教学 文化人類学 文学 【教養科目群（社会）】経営学 政治学（国際政治を含む） 社会学 経済学 法律学（国際法を含む） 会計学 【スポーツ科目群】体育実技A 体育実技B 【情報処理科目群】情報処理基礎II 【憲法】日本国憲法 【数理データサイエンス科目群】データサイエンス基礎 【情報処理科目群】情報科学概論 情報処理基礎I（機器操作を含む） 【外国語科目群】英語I 英語コミュニケーションI リスニング	子どもの心理学（総論） 臨床心理学概論 乳幼児心理学（講義） 心理学概論（こころの理解） 心理学概論（こころの形成） 子ども学	教育・学校心理学A 心理学統計法I 心理学研究法	少年非行の心理学 障害者・障害児心理学 社会・集団・家族心理学A	保育原理 教育学概論 子ども家庭福祉		地域連携II キャリアモデルケーススタディ 地域連携I 国語表現 プレゼンテーションII プレゼンテーションI カレッジ&キャリアスキルズB カレッジ&キャリアスキルズA		
卒業要件	32単位以上	12単位	12単位以上	34単位以上	6単位以上	8単位	10単位	4単位まで専門教育科目に算入	
修得目標	責任ある社会人にふさわしい教養	子どもの「こころ」の発達過程と特性に関する基礎的知識	心理学の諸領域における知識や技能		心理学以外の子どもに関わる知識	心理学の学びの集大成	責任ある社会人にふさわしい社会的技能及び地域との関わり	組織や産業に関わる心理学的知識	公認心理師に特化した知識と技能
科目区分	一般教育科目	基礎科目	基幹科目	展開科目 —子どもの心理科目群—	展開科目 —子どもの保育・教育科目群—	卒業研究科目	キャリア科目	他学部開講科目	課程外科目
		専門教育科目							

注) ■ 必修科目  
■ 選択科目  
赤字 公認心理師科目

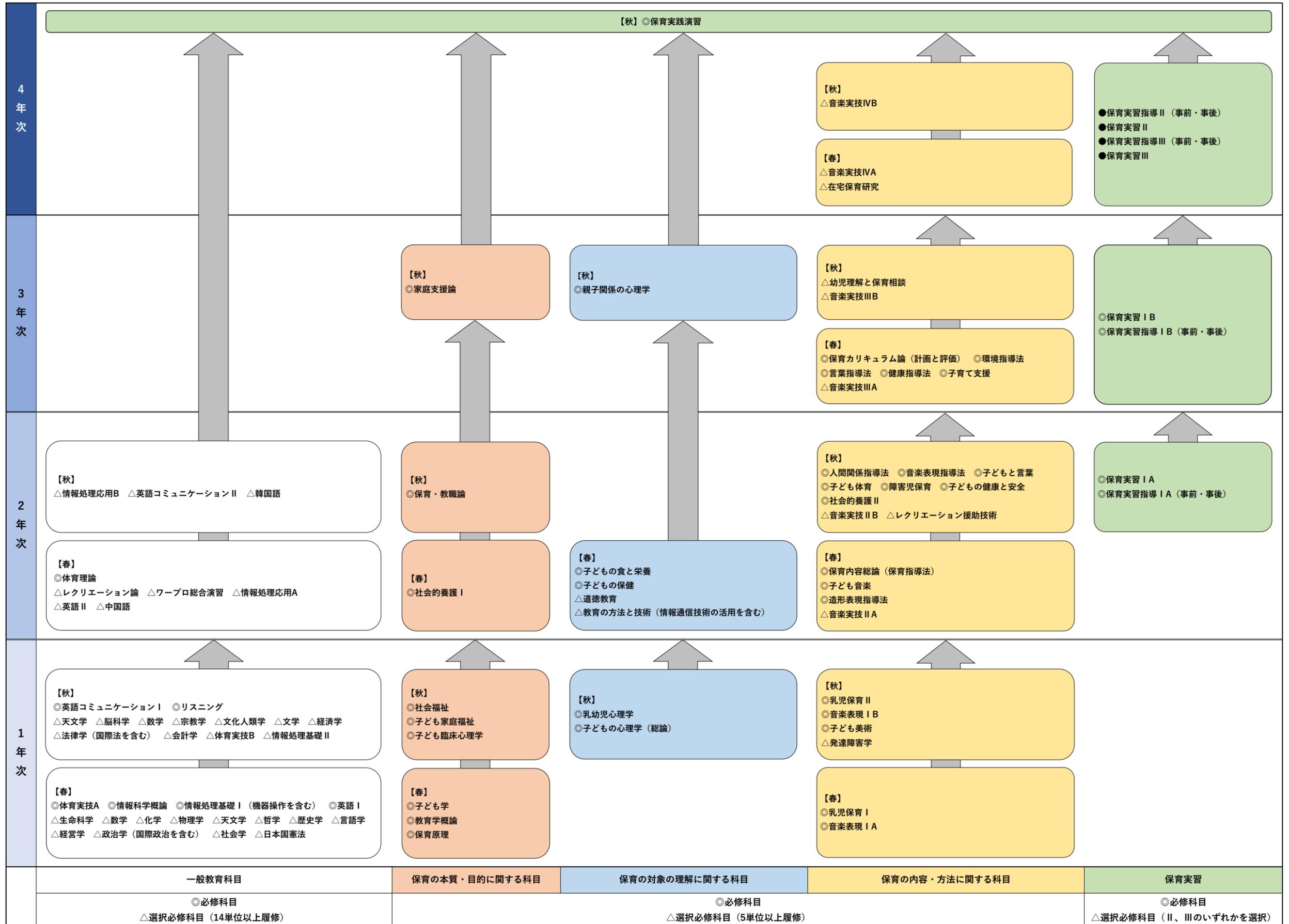
# こども心理学部こども心理学科 こども保育・教育専攻（幼保履修モデル）カリキュラム・マップ



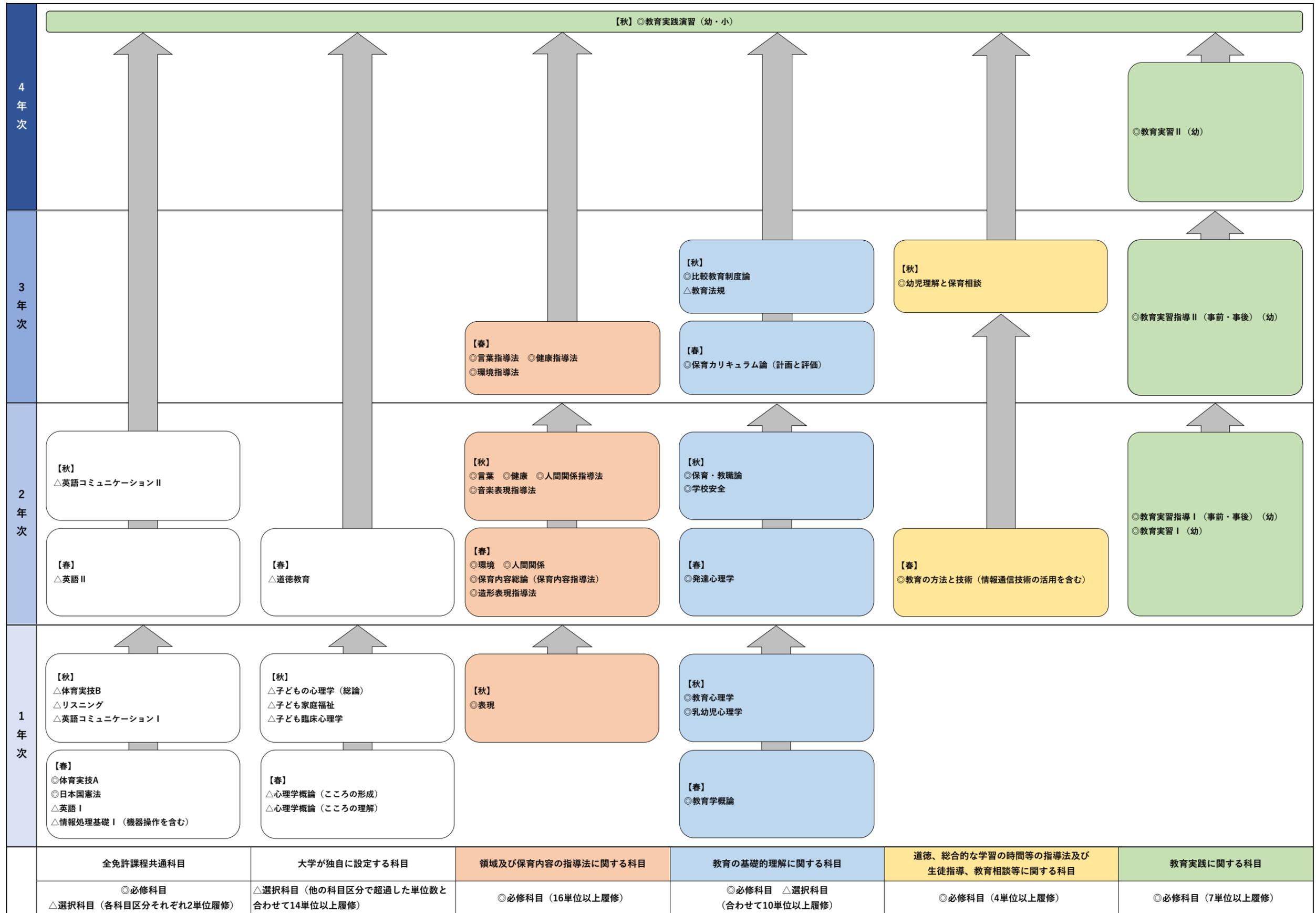
# こども心理学部こども心理学科 こども保育・教育専攻（小幼履修モデル）カリキュラム・マップ



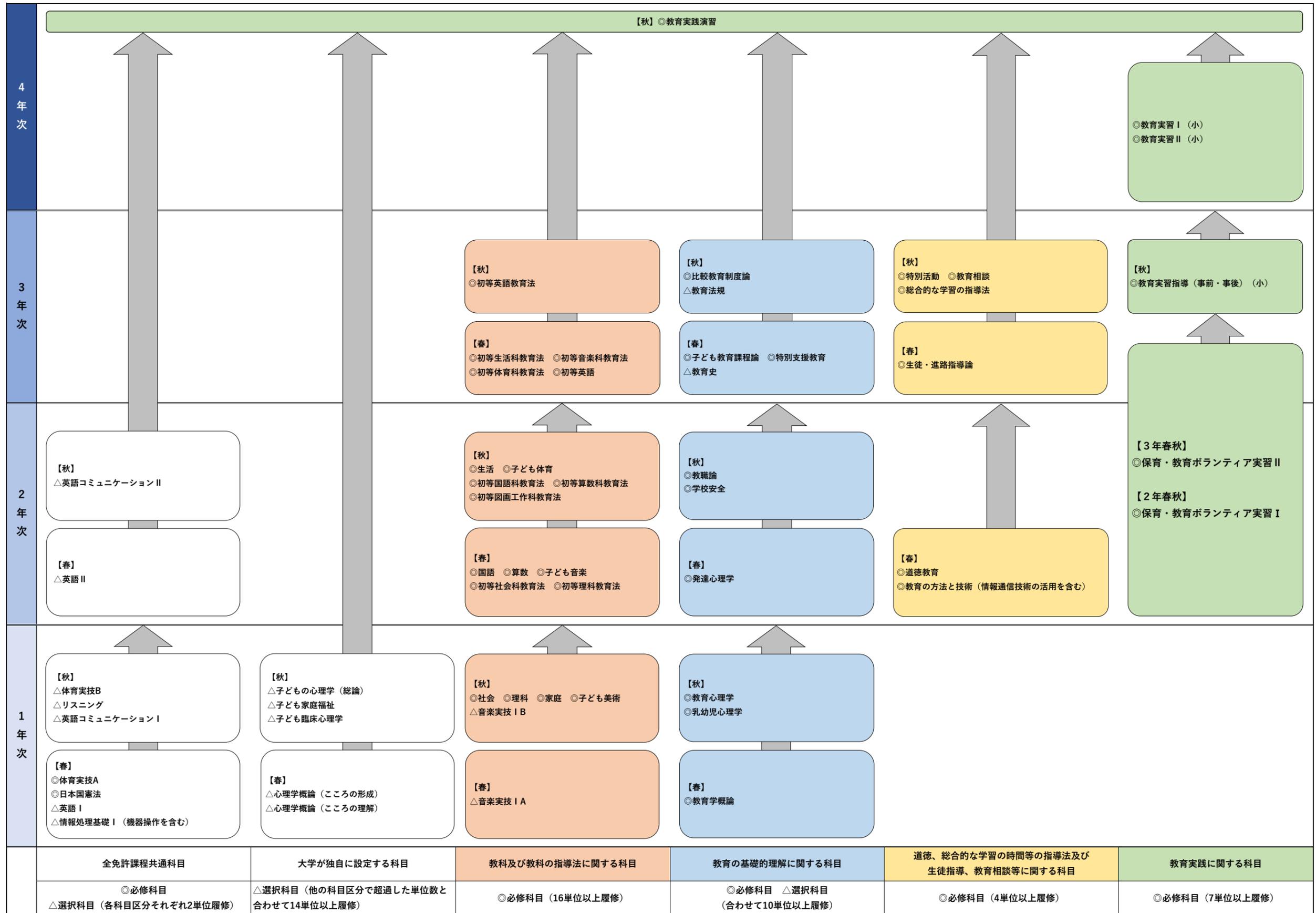
# 保育士資格カリキュラム・マップ



# 幼稚園教諭一種免許カリキュラム・マップ



# 小学校教諭一種免許カリキュラム・マップ



# モチベーション行動科学部カリキュラム・マップ

## 個人を見つめる力

客観的な視点で人間行動を理解し分析することができ、モチベーションやリーダーシップに関する専門的知識を備え、所属する集団や組織、社会における成員の活動を促進する力を修得している。

## 他者と関わる力

他者を肯定的に理解することができ、他者と円滑な対人関係を構築できる高いコミュニケーション能力と対人関係スキルを身につけ、他者や社会とより健全な関わりをもつ力を修得している。

## 組織を動かす力

集団・組織の中で自分の立場を理解し、組織行動に関する基礎的知識を備え、組織活性化や人材の育成に取り組む力を修得している。

ディプロマ ロリシー	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>個人を見つめる力</b></p> <p>客観的な視点で人間行動を理解し分析することができ、モチベーションやリーダーシップに関する専門的知識を備え、所属する集団や組織、社会における成員の活動を促進する力を修得している。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>他者と関わる力</b></p> <p>他者を肯定的に理解することができ、他者と円滑な対人関係を構築できる高いコミュニケーション能力と対人関係スキルを身につけ、他者や社会とより健全な関わりをもつ力を修得している。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p><b>組織を動かす力</b></p> <p>集団・組織の中で自分の立場を理解し、組織行動に関する基礎的知識を備え、組織活性化や人材の育成に取り組む力を修得している。</p> </div> </div>																																																																							
4年次	◎卒業研究												教育実践演習(中・高)	教育実習Ⅰ・Ⅱ	【心】心理実習<通年>																																																									
3年次	↑												教育実習事前事後指導	精神疾患とその治療	関係行政論																																																									
2年次	↑												司法・犯罪心理学	社会科・公民科教育法Ⅱ	人体の構造と機能及び疾病																																																									
1年次	↑												神経・生理心理学	社会科教育法Ⅰ	公認心理師の職業																																																									
科目区分	自然科学				人文 教養科目群				社会				スポーツ 科目群				情報処理 科目群				外国語科目群				憲法				数理データサイエンス科目群				心理・コミュニケーション科目群				経営科目群				教育科目群				キャリア科目				演習科目				他学部開講科目				課程外科目															
卒業要件	(12単位以上)				(2単位以上)				(4単位以上)				(8単位以上)				(14単位以上)				(12単位以上)				(12単位以上)				(12単位)				-				-																																			
学びの特徴	社会・文化・自然に関わる学び				身体感覚と身体を介した人との関わりを学ぶ				多様な情報処理に関わる学び				コミュニケーション手段としての英語の学び				視野を広げる語学の学び				日本国憲法に関わる学び				心の働きに関する理論の学び				心を知る手法と技能に関わる学び				経営に関わる学び				公共経営に関わる学び				教育学の理論に関わる学び				教育の課題に関わる学び				教科教育に関わる学び <sup>*1</sup>				キャリア教育の基盤となる学び				社会の中での知識・技能の実践方法の学び				専門的スキル獲得のための学び				教職課程に関わる学び <sup>*1</sup>				公認心理師に関わる学び <sup>*2</sup>			
カリキュラムポリシー	社会・文化・自然に対する視点や考え方を育てる												モチベーション行動科学の基礎となる研究マインドやデータ分析に関する知識と技能、コミュニケーションスキルを身につける												広い視野をもたらす複合的な学び												教育学の視点からモチベーション行動科学を捉える力を身につける												学内外で社会に触れる機会を設け、知識・技能を実践に活かす力を身につける												1年～4年までの学生一人一人の学修の促進											

↑：関連科目  
 ▲：「学びの基盤となる知識と技能の獲得」「応用可能性の高い知識・技能の獲得」「学びの集大成」への積み上げを意味する。  
 塗りつぶし：講義科目  
 枠のみ：演習・実習科目

【心】：公認心理師を目指し、一定の条件を満たした場合のみ履修できる。  
 【教】：教員課程登録者または登録しようとする学生のみ履修できる。  
 \*1: 中学校または高等学校の教育職員免許の取得を希望する場合には、「教科教育に関わる学び」や「教職課程に関わる学び」に記載の科目だけでなく一般教養科目や専門教育科目に配置された免許取得に必要な科目の単位修得が求められる。詳細は「学生便覧・履修の手引き」を確認すること。  
 \*2: 公認心理師受験資格に必要な要件科目は、「公認心理師に関わる学び」に記載の科目だけでなく、専門教育科目や他学部開講科目に配置された資格取得に必要な科目の単位修得が求められる。詳細は「学生便覧・履修の手引き」を確認すること。  
 \*1,2: 課程外科目は当該免許・資格を希望する学生のみ履修できる。

こども心理学部こども心理学科心理専攻(令和7(2025)年度以降 入学生適用)  
 こども心理学部こども心理学科こども保育・教育専攻(令和7(2025)年度以降 入学生適用)  
 モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科(令和7(2025)年度以降 入学生適用)

科目ナンバリング 一覧表

一般教育科目				
区分	科目No	科目名		
自然科学	XAAA101A	生命科学		
	XAAA102A	化学		
	XAAB103A	数学		
	XAAA104A	天文学		
	XAAA105A	物理学		
	XAAB106A	脳科学		
	XABA107A	哲学		
	XABA108A	歴史学(こども)		
	XABC109A	歴史学(モチベ)		
	XABA110A	言語学		
人文	XABB111A	宗教学		
	XABB112A	文化人類学		
	XABB113A	文学		
	XACA114A	経営学		
	XACA115A	政治学(国際政治を含む)		
	XACA116A	社会学(こども)		
	XACB120A	社会学(モチベ)		
	XACB117A	経済学		
	XACB118A	法律学(国際法を含む)		
	XACB119A	会計学		
スポーツ科	XADA101A	体育実技A		
	XADB102A	体育実技B		
	XADC103A	レクリエーション論		
	XADD104A	レクリエーション援助技術		
	XADC105A	体育理論		
	情報処理科目	XAEA101A	情報科学概論	
		XAEA102A	情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)	
		XAEB103A	情報処理基礎Ⅱ	
		XAEC201A	情報処理応用A	
		XAED202A	情報処理応用B	
XAEC203A		ワープロ総合演習		
外国語科目		XAFA101A	英語Ⅰ	
		XAFC201A	英語Ⅱ	
		XAFB102A	英語コミュニケーションⅠ	
		XAFD202A	英語コミュニケーションⅡ	
	XAFC301A	アカデミック・リーディング		
	XAFD302A	アカデミック・リーディング&ライティング		
	XAFB103A	リスニング		
	XAFE303A	ビジネス英語		
	XAFC104A	中国語		
	XAFD105A	韓国語		
憲法	XAGA101A	日本国憲法		
	専攻テーマ別科目	XARB101A	データサイエンス基礎	
		キャリア科目	XAHA101A	国語表現
			XAHA102A	プレゼンテーションⅠ
			XAHB201A	プレゼンテーションⅡ
			XAHA103A	カレッジ&キャリアスキルズA
			XAHA202A	カレッジ&キャリアスキルズB
			XAHC104A	キャリアデザインA
			XAHD203A	キャリアデザインB
			XAHC107A	キャリア形成論
XAHC204A			事例で学ぶビジネス	
XAHB108A	キャリアモデル・ケーススタディ			
XAHA109A	地域連携Ⅰ			
XAHB205A	地域連携Ⅱ			
XAHE206A	単位型インターンシップ			

教養教育科目		
心理専攻		
区分	科目No	科目名
基礎科目	XDIA101A	子ども学
	XDIA102A	心理学概論(こころの形成)
	XDIA103A	心理学概論(こころの理解)
	XDIB104A	乳幼児心理学(講義)
	XDIB105A	臨床心理学概論
	XDIB106A	子どもの心理学(総論)
	XDIB107A	子どもの心理学(総論)
	XDIB108A	教育心理学
	XDIB109A	教育心理学
	XDIB110A	教育心理学
基幹科目	XBIA201A	教育・学校心理学A
	XBIB107A	心理学研究法
	XBIB108A	心理学統計法Ⅰ
	XBID202A	心理調査概論
	XBIC110A	感情・人格心理学A
	XBIC111A	心理学的支援法
	XDIC112A	発達心理学
	XBID113A	青年心理学
	XBID203A	心理的アセスメント
	XBIA101A	社会・集団・家族心理学A
展開科目	XBIB102A	障害者・障害児心理学
	XBIB201A	少年非行の心理学
	XBIC103A	知覚・認知心理学
	XBIC104A	発達生理心理学
	XBIC105A	心理療法基礎
	XBIC203A	子ども文化
	XBIC204A	心理学統計法Ⅱ
	XBIC205A	心理学実験
	XBIC206A	子ども心理学実践実習
	XBIC105A	社会・集団・家族心理学B
展開科目	XBID106A	感情・人格心理学B
	XBID107A	神経・生理心理学
	XBID207A	健康・医療心理学
	XBID108A	社会・集団・家族心理学C
	XBID208A	対人コミュニケーション論
	XBID301A	心理学応用研究法実習A
	XBIE302A	心理学応用研究法実習B
	XBIE303A	心理療法上級A
	XBIE304A	心理療法上級B
	XBIC209A	教育・学校心理学B
展開科目	XBIE305A	対人コミュニケーションスキル
	XBIE210A	司法・犯罪心理学
	XBID306A	子ども心理学特別講義
	XBIE307A	産業カウンセリング
	XBIE211A	学習・言語心理学A
	XBIE308A	比較行動学
	XBIE309A	発達の問題と障害
	XBIE212A	学習・言語心理学B
	XBIE310A	親子関係の心理学
	XBIE311A	子育てカンファレンス
展開科目	XBIE312A	非行犯罪特別講義
	XBIE313A	心理的アセスメント上級
	XBIE314A	文化心理学
	XBIE315A	心理学統計法Ⅲ
	XBIE213A	福祉心理学
	XCKB120A	子ども家庭福祉
	XCIA109A	教育学概論
	XCIA114A	保育原理
	XCKC221A	道徳教育
	XCKD117A	教職論
展開科目	XCKF228A	幼児理解と保育相談
	XCKB121A	社会福祉
	XCKF218A	比較教育制度論
	XCKF233A	家庭支援論
	XBLE301A	こども心理演習Ⅰ
	XBLF302A	こども心理演習Ⅱ
	XBLG400A	卒業研究・卒業論文
	XENC205A	消費者の行動と心理
	XEMF308A	ストレスマネジメント論
	XEME304A	産業・組織心理学
他学部	XEMF312A	エイジングの心理学
	XEND208A	多文化共生社会論
	XFGC201A	心理学英書講読A
	XFQD202A	心理学英書講読B
	XFQD203A	公認心理師の職業
	XFQF303A	関係行政論
	XFQE204A	人体の構造と機能及び疾病
	XFQF205A	精神疾患とその治療
	XFQF304A	心理演習
	XFQG305A	心理実習

教養教育科目		
こども保育・教育専攻		
区分	科目No	科目名
基礎科目	XDIA100A	子ども学
	XDIA101A	心理学概論(こころの形成)
	XDIA102A	心理学概論(こころの理解)
	XDIB103A	乳幼児心理学(講義)
	XDIB104A	乳幼児心理学(演習)
	XDIB105A	子ども臨床心理学
	XDIB106A	子どもの心理学(総論)
	XDIB107A	教育心理学
	XDID108A	青年心理学
	XDIA109A	教育学概論
基幹科目	XCKC110A	バーソナリティ心理学
	XCF211A	カウンセリング論
	XDKC112A	発達心理学
	XDIA114A	保育原理
	XCKC200A	国語
	XCKC201A	算数
	XCKD202A	生活
	XCKB203A	社会
	XCKB204A	理科
	XCKB205A	家庭
展開科目	XCKE206A	初等英語
	XCKB207A	表現
	XCKC208A	人間関係
	XCKC209A	環境
	XCKD210A	健康
	XCKD211A	言葉
	XCKC212A	子ども音楽
	XCKB213A	子ども美術
	XCKD214A	子ども体育
	XCKD215A	子ども言葉
展開科目	XCKA115A	音楽実技ⅠA
	XCKB116A	音楽実技ⅠB
	XCKC216A	音楽実技ⅡA
	XCKD217A	音楽実技ⅡB
	XCKE300A	音楽実技ⅢA
	XCKF301A	音楽実技ⅢB
	XCKG302A	音楽実技ⅣA
	XCKH303A	音楽実技ⅣB
	XCKD117A	教職論
	XCKD118A	保育・教職論
展開科目	XCKF218A	比較教育制度論
	XCKE219A	子ども教育課程論
	XCKE220A	保育カリキュラム論(計画と評価)
	XCKD304A	人間関係指導法
	XCKE305A	健康指導法
	XCKE306A	環境指導法
	XCKE307A	言葉指導法
	XCKC308A	造形表現指導法
	XCKD309A	音楽表現指導法
	XCKE310A	英語指導法
展開科目	XCKC311A	保育内容総論(保育指導法)
	XCKD312A	初等国語科教育法
	XCKC313A	初等社会科教育法
	XCKD314A	初等算数科教育法
	XCKC315A	初等理科教育法
	XCKE316A	初等生活科教育法
	XCKE317A	初等音楽科教育法
	XCKD318A	初等図画工作科教育法
	XCKC319A	初等家庭科教育法
	XCKE320A	初等体育科教育法
展開科目	XCKF321A	初等英語教育法
	XCKC221A	道徳教育
	XCKE119A	教育史
	XCKF222A	教育法規
	XCKD223A	学校安全
	XCKE322A	特別支援教育
	XCKF323A	総合的な学習の指導法
	XCKF224A	特別活動
	XCKE225A	生徒・進路指導
	XCKF226A	教育相談
展開科目	XCKC227A	教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む)
	XCKF228A	幼児理解と保育相談
	XCKH400A	教職実践演習(幼・小)
	XCKH401A	保育実践演習

教養教育科目		
こども家庭福祉		
区分	科目No	科目名
展開科目	XCKB120A	子ども家庭福祉
	XCKB121A	社会福祉
	XCKE229A	子育て支援
	XCKF230A	国際社会の福祉
	XCKC231A	社会的養護Ⅰ
	XCKC122A	子どもの保健
	XCKD232A	子どもの健康と安全
	XCKC123A	子どもの食と栄養
	XCKE233A	家庭支援論
	XCKA124A	乳児保育Ⅰ
展開科目	XCKB234A	乳児保育Ⅱ
	XCKD324A	障害児保育
	XCKD325A	社会的養護Ⅱ
	XCKG326A	在宅保育研究
	XCKC235A	保育・教育ボランティア実習
	XCKC201A	保育・教育ボランティア実習Ⅰ
	XCKE245A	保育・教育ボランティア実習Ⅱ
	XCKC236A	教育実習指導Ⅰ(事前・事後)(幼)
	XCKE327A	教育実習指導Ⅱ(事前・事後)(幼)
	XCKC237A	教育実習Ⅰ(幼)
展開科目	XCKG328A	教育実習Ⅱ(幼)
	XCKD238A	保育実習指導ⅠA(事前・事後)
	XCKE239A	保育実習指導ⅠB(事前・事後)
	XCKG329A	保育実習指導Ⅱ(事前・事後)
	XCKG330A	保育実習指導Ⅲ(事前・事後)
	XCKD240A	保育実習ⅠA
	XCKE241A	保育実習ⅠB
	XCKG331A	保育実習Ⅱ
	XCKG332A	保育実習Ⅲ
	XCKF242A	教育実習指導(事前・事後)(小)
展開科目	XCKG243A	教育実習Ⅰ(小)
	XCKG333A	教育実習Ⅱ(小)
	XBIC103A	知覚・認知心理学
	XBID106A	感情・人格心理学B
	XBHB101A	発達障害学
	XBIC104A	心理療法基礎
	XBIE212A	学習・言語心理学B
	XBIA101A	社会・集団・家族心理学A
	XBHF244A	親子関係の心理学
	XBIB201A	少年非行の心理学
展開科目	XBIE312A	非行犯罪特別講義
	XBIE210A	司法・犯罪心理学
	XBIE309A	発達の問題と障害
	XCLE334A	こども保育・教育演習Ⅰ
	XCLF335A	こども保育・教育演習Ⅱ
	XCLG402A	卒業研究・卒業論文

教養教育科目		
モチベーション行動科学部		
区分	科目No	科目名
心理・コミュニケーション科目	XEMA101A	心理学概論
	XEMB102A	心理学研究法
	XEMB103A	社会・集団・家族心理学A(社会)
	XEMB104A	心理統計法Ⅰ
	XEMB105A	臨床心理学概論
	XEMC201A	発達心理学
	XEMC202A	心理学実験
	XEMC203A	社会・集団・家族心理学B(集団)
	XEMC204A	モチベーション論Ⅰ
	XEMC205A	心理学的支援法
演習科目	XEMC206A	心理調査概論
	XEMC207A	知覚・認知心理学
	XEMD208A	感情・人格心理学A(人格)
	XEMD209A	心理統計法Ⅱ
	XEMD210A	学習・言語心理学
	XEMD211A	モチベーション論Ⅱ
	XEMD212A	コミュニケーションの心理学
	XEMD213A	心理的アセスメント
	XEMD214A	心理調査課題演習(フィールドワーク)
	XEME301A	質的分析法
他学部	XEME302A	健康・人格心理学B(感情)
	XEME303A	福祉心理学
	XEME304A	産業・組織心理学
	XEME305A	クリエイティブ・シンキング
	XEMF306A	社会・集団・家族心理学C(家族)
	XEMF307A	健康・医療心理学
	XEMF308A	ストレスマネジメント論
	XEME309A	コミュニケーション・スキル
	XEMF310A	ポジティブ心理学
	XEMF311A	心理演習
展開科目	XEMF312A	エイジングの心理学
	XENA102A	経営学概論
	XENA106A	社会科学概論
	XENB101A	流通論
	XENB103A	国際政治
	XENB105A	マーケティング概論
	XENC201A	公共経営と政策
	XENC202A	国際経済
	XENC203A	グローバルビジネス
	XENC204A	経営戦略
展開科目	XENC205A	消費者行動分析
	XENC206A	国際法
	XEND207A	簿記
	XEND208A	多文化共生社会論
	XEND209A	マーケティング戦略
	XEND210A	社会科学特講
	XEND211A	経営管理
	XEND212A	国際関係論
	XENE301A	都市経営論
	XENE302A	人的資源管理
展開科目	XENE303A	企業と社会的責任
	XENE213A	時事事例研究A
	XENF304A	公共サービス論
	XENF305A	コミュニティデザイン
	XENF306A	ビジネスプランニング
	XENF214A	時事事例研究B
	XENF307A	産業と組織
	XEOA101A	日本史Ⅰ
	XEOA102A	倫理学
	XEOB103A	コンピュータと人間の接点
展開科目	XEOB104A	地域教育支援論
	XEOB105A	日本史Ⅱ
	XEOB106A	教育・学校心理学A
	XEOB107A	異文化コミュニケーション
	XEOB108A	教職論
	XEOB109A	教育学概論
	XEOC201A	国際理解教育論
	XEOC202A	外国史Ⅰ
	XEOC203A	教育課程論
	XEOC204A	道徳教育の指導法
展開科目	XEOC205A	教育の方法及び技術
	XEOC210A	生涯学習論
	XEOD206A	地域史論
	XEOD207A	コンピュータネットワーク
	XEOD209A	外国史Ⅱ
	XEOD211A	教育制度論
	XEOD212A	特別活動の指導法
	XEOD213A	学校安全
	XEOD214A	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法
	XEOE302A	コーチング
展開科目	XEOE303A	地理学Ⅰ(地誌を含む)
	XEOE304A	人文地理学
	XEOE305A	教育福祉論

## 【通学課程】入学年度別進級・卒業者の状況

(単位:人、%)

学科・専攻	入学年度	入学者数		3年次進級				標準年限卒業			
		累計	人数	進級率	累計	累計進級率	卒業者	卒業率	累計	累計卒業率	
心理専攻	平成26(2014)	95	95	83	87.4	83	87.4	73	76.8	73	76.8
	平成27(2015)	105	200	88	83.8	171	85.5	72	68.6	145	72.5
	平成28(2016)	103	303	84	81.6	255	84.2	77	74.8	222	73.3
	平成29(2017)	122	425	101	82.8	356	83.8	85	69.7	307	72.2
	平成30(2018)	124	549	111	89.5	467	85.1	99	79.8	406	74.0
	令和元(2019)	122	671	112	91.8	579	86.3	100	82.0	506	75.4
	令和2(2020)	117	788	111	94.9	690	87.6	104	88.9	610	77.4
	令和3(2021)	126	914	108	85.7	798	87.3	102	81.0	712	77.9
	令和4(2022)	126	1040	105	83.3	903	86.8	-	-	-	-
令和5(2023)	126	1166	105	83.3	1008	86.4	-	-	-	-	
令和6(2024)	138	1304	-	-	-	-	-	-	-	-	
こども 保育・教育 専攻	平成26(2014)	160	160	149	93.1	149	93.1	143	89.4	143	89.4
	平成27(2015)	163	323	147	90.2	296	91.6	134	82.2	277	85.8
	平成28(2016)	203	526	191	94.1	487	92.6	183	90.1	460	87.5
	平成29(2017)	204	730	191	93.6	678	92.9	179	87.7	639	87.5
	平成30(2018)	200	930	182	91.0	860	92.5	171	85.5	810	87.1
	令和元(2019)	205	1135	192	93.7	1052	92.7	173	84.4	983	86.6
	令和2(2020)	201	1336	195	97.0	1247	93.3	186	92.5	1169	87.5
	令和3(2021)	198	1534	189	95.5	1436	93.6	178	89.9	1347	87.8
	令和4(2022)	177	1711	168	94.9	1604	93.7	-	-	-	-
令和5(2023)	198	1909	190	96.0	1794	94.0	-	-	-	-	
令和6(2024)	201	2110	-	-	-	-	-	-	-	-	
こども 心理学部 合計	平成26(2014)	255	255	232	91.0	232	91.0	216	84.7	216	84.7
	平成27(2015)	268	523	235	87.7	467	89.3	206	76.9	422	80.7
	平成28(2016)	306	829	275	89.9	742	89.5	260	85.0	682	82.3
	平成29(2017)	326	1155	292	89.6	1034	89.5	264	81.0	946	81.9
	平成30(2018)	324	1479	293	90.4	1327	89.7	270	83.3	1216	82.2
	令和元(2019)	327	1806	304	93.0	1631	90.3	273	83.5	1489	82.4
	令和2(2020)	318	2124	306	96.2	1937	91.2	290	91.2	1779	83.8
	令和3(2021)	324	2448	297	91.7	2234	91.3	280	86.4	2059	84.1
	令和4(2022)	303	2751	273	90.1	2507	91.1	-	-	-	-
令和5(2023)	324	3075	295	91.0	2802	91.1	-	-	-	-	
令和6(2024)	339	3414	-	-	-	-	-	-	-	-	
モチベー ション行動 科学科	平成26(2014)	66	66	57	86.4	57	86.4	47	71.2	47	71.2
	平成27(2015)	46	112	32	69.6	89	79.5	28	60.9	75	67.0
	平成28(2016)	60	172	38	63.3	127	73.8	32	53.3	107	62.2
	平成29(2017)	76	248	67	88.2	194	78.2	57	75.0	164	66.1
	平成30(2018)	73	321	62	84.9	256	79.8	52	71.2	216	67.3
	令和元(2019)	75	396	70	93.3	326	82.3	60	80.0	276	69.7
	令和2(2020)	76	472	69	90.8	395	83.7	68	89.5	344	72.9
	令和3(2021)	72	544	68	94.4	463	85.1	63	87.5	407	74.8
	令和4(2022)	70	614	66	94.3	529	86.2	-	-	-	-
令和5(2023)	74	688	64	86.5	593	86.2	-	-	-	-	
令和6(2024)	81	769	-	-	-	-	-	-	-	-	
大学全体	平成26(2014)	321	321	289	90.0	289	90.0	263	81.9	263	81.9
	平成27(2015)	314	635	267	85.0	556	87.6	234	74.5	497	78.3
	平成28(2016)	366	1001	313	85.5	869	86.8	292	79.8	789	78.8
	平成29(2017)	402	1403	359	89.3	1228	87.5	321	79.9	1110	79.1
	平成30(2018)	397	1800	355	89.4	1583	87.9	322	81.1	1432	79.6
	令和元(2019)	402	2202	374	93.0	1957	88.9	333	82.8	1765	80.2
	令和2(2020)	394	2596	375	95.2	2332	89.8	358	90.9	2123	81.8
	令和3(2021)	396	2992	365	92.2	2697	90.1	343	86.6	2466	82.4
	令和4(2022)	373	3365	339	90.9	3036	90.2	-	-	-	-
令和5(2023)	398	3763	377	94.7	3413	90.7	-	-	-	-	
令和6(2024)	420	3763	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 こども心理専攻は2019年度より心理専攻に専攻名称変更

※2 学校基本調査ベース回答(5月1日基準日)

※3 編入生を除く

※4 卒業率、進級率ともに入学者数に対する比率(休学者を除く)